

活動名：第 17 回福島空港公園杯少年フットサル大会 U12

日 程：令和 5 年 10 月 7 日（土）・8 日（日）

会 場：福島空港公園緑のスポーツエリアフットサルコート（人工芝）

参 加：T6（7 名）・L100 五年（1 名） 計 8 名

帯 同：設楽コーチ

サポート：大森・貝和・ほのかコーチ

結 果：予選リーグ

VS 安積第三 A 0：5 ●

VS 猪苗代 B 0：2 ●

VS リガーズ 0：9 ●

VS グラート 4：1 ○

VS 富田 0：5 ●

VS 川俣 2：2 △

VS 岩根 A 1：0 ○

リーグ 11・12 位トーナメント

VS 安積第三 B 4：0 ○

11 位／16 チーム

報 告：設楽

この大会はアーレが空港公園の事業に協力して開催している歴史有るフットサル大会ですが、近年はアーレ出場枠を増やしていただき、今大会は 3 チームが出場することができました。

3 チームは U12 大会なので 5 年生以上を対象として T5、T6、L100 をチームエントリーしました。

チーム分けは L100 の参加者が多く、T5、T6 クラスの参加者が少なかったことから、L100 の 5 年生の 5 名をリフティング記録の順に分け、T6 と T5 に入り全チームの参加者数を均等にするメンバー構成にしました。その 3 チームのうち、私は T6 チームの監督を務めました。

T6 チームは 6 年生が中心のメンバーですが、リフティングが苦手な子が多く、基礎技術（ボールを止める、蹴る、運ぶ、相手から奪うなど）に不安があるので、この大会はフットサルのルールや競技性を感じてもらい、チームの勝敗よりも経験を積んでもらう機会と考え挑みました。

初めにキャプテンを決める打合せをしましたが、誰も手を上げることもなく、無理矢理に S.はるま君にみんながお願いする運びとなり、はるま君も仕方なく引き受けてくれました。そのようなことから人任せな子たちなので積極性にも不安があり、個性もある子たちなので、どんな二日間になるのか？を心配はしましたが、やはり初日の試合はチームワークが構築できず、人任せなプレーや自分勝手なプレーも見られ、失点を繰り返すと心が折れてしまい、メンバーの中には「もう出たくない・・・」などと言う子も出て来てチームはバラバラでした。逆ブロックでは、T5 や L100 クラスの活躍が見られ勝ち越していることから、T6 の 6 年生たちの面目が立たないと心配しました。

初日の試合前は、6年生は残り少ない大会なので仲間と共に戦い、良い経験を積み楽しい思い出が作る機会、チームの勝敗よりもサッカー（フットサル）を二日間で楽しく感じてもらいたいという気持ちだったので、「試合をする楽しさ優先」、「平等時間の出場」や「様々なポジションを経験してもらおう」ことを軸として挑みましたが大敗を重ね、このままだと二日間の全ての試合で負けてしまうような様子だったので、楽しい思い出が作れないと心配になり、二日目は初日の個々の戦い方やプレーを見て考え、子どもたちの希望するポジションは聞かず、「それぞれの得意（ハマる）と思われるポジションを固定」し、「平等出場も試合の状況によっては少し長めの出場や短めの出場など偏る起用」や「勝つ喜び」を与えられるような強いコーチングをしました。

そのようなことから、二日目の試合は初日では想像も出来ないくらいの子どもたちの戦うプレーが見られ、チームとなって仲間のために戦うことや個々で相手にチャレンジする気持ちが感じられ、勝利を重ねていく健闘ができました。

やはり、初日のような「自分がやりたいポジションをやる」ことの楽しさもありますが、チームとして勝利ができないとモチベーションも下がってしまいます。チームの目的を優先して、自分ができることを責任もってプレーし、その結果によるチームの勝利を感じてもらえたのかなと思います。

FCグラートさんは選手数が足りない中、大会に出場してくれたことから、他チームから助っ人選手がほしいと代表者会議で話しがあり、アーレ T6 が助っ人応援に入りました。他のチームの仲間と一緒に戦うことは良い経験ができて良かったと思います。

このようなこともありました・・・

試合に挑む前に「ハットトリックする」といった目標を立てて挑んだひかる君ですが、最終戦で「ハットトリック」をしてチームを勝利に導き、その結果に親も驚き、「有言実行」を成し遂げたと親子で喜んだそうです。また、キャプテン役を初めは断りながらも引き受けたはるま君は最終戦までチームを引っ張り、試合時間を常に意識して行動し、試合前のアップも自主的に頑張ってくれました。

L100 チームは素晴らしい戦いをして全勝優勝したことは、見ている人たちにも勝ちたいという強い気迫や頑張っている姿を見せてくれて感動を与えられたと思います。また、T5 クラスも5年生ながらに6年生の大会でチーム一丸となって挑み、来年の大会に期待ができる頼もしい活躍を見せてくれました。そして、他アーレチームの応援もベンチの横に座り声を出して仲間を鼓舞する姿も見られアーレファミリーを感じました。

保護者の方々も朝早くからの送迎にご協力をいただき、子どもたちの成長を感じられたと思います。応援ありがとうございました。

今後もますます成長が期待できる年代ですので、引き続きよろしく願いいたします。

最後に、主催者や交流していただいたチームの皆さま、二日間ありがとうございました。

コーチ：設楽



